

令和5年6月27日
九州地方整備局
有明海沿岸国道事務所

ありあけかいえんがん おおのしま もろどみ
有明海沿岸道路 大野島IC～諸富IC間
開通後の整備効果について

- ありあけかいえんがん みいけ
○有明海沿岸道路は、三池港、九州佐賀国際空港等の交通拠点等を結ぶ広域交通ネットワークを形成するとともに、並行する国道208号の交通渋滞の緩和や交通安全の確保を目的とした高規格道路です。
- 令和4年11月に開通しました、大野島IC～諸富IC間(延長1.7km)開通半年後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

開通に伴う整備効果

○有明海沿岸道路(大野島IC～諸富IC)の交通量が**約1.1万台**



○交通混雑の緩和

■交通量の変化・渋滞の解消

- ・並行する国道208号で**約1割**主要地方道で**約6割の交通量が減少**
- ・早津江橋西交差点の**渋滞解消(610m⇒0m)**

○広域交通ネットワークの形成

■利用交通量の変化

- ・令和3年度交通量と比較し、交通量の多い区間で**約1.5倍増加**
- ・有明海沿岸道路全区間において**交通量増加**

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 有明海沿岸国道事務所

技術副所長 りゅう ひろふみ 龍 博文

工務課長 ならはら しんすけ 檜原 伸介

電話 0944-74-2930 (代表)

URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/arien/>

有明海沿岸道路

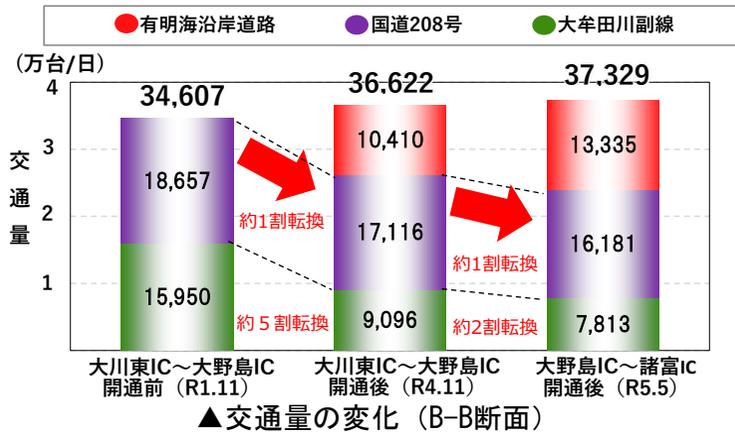
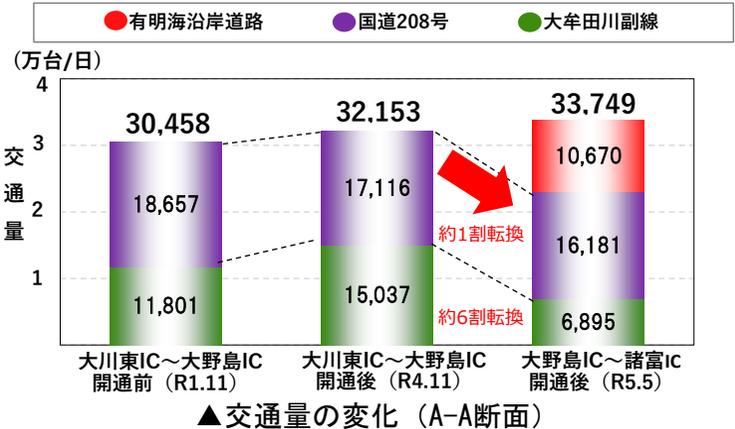


- 事業中区分
- 開通区分
- 国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 一般県道



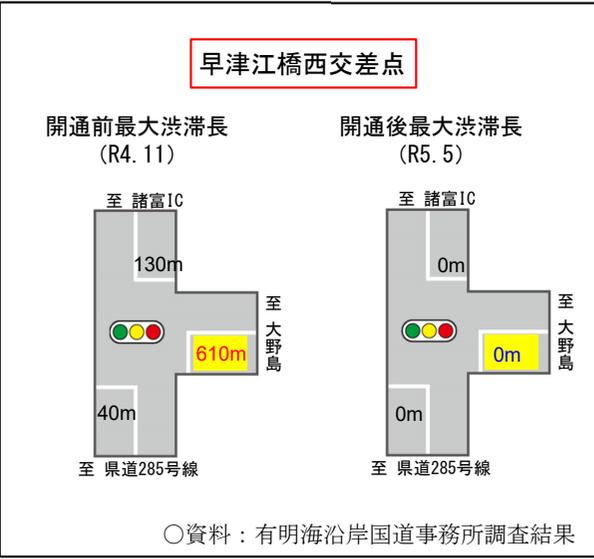
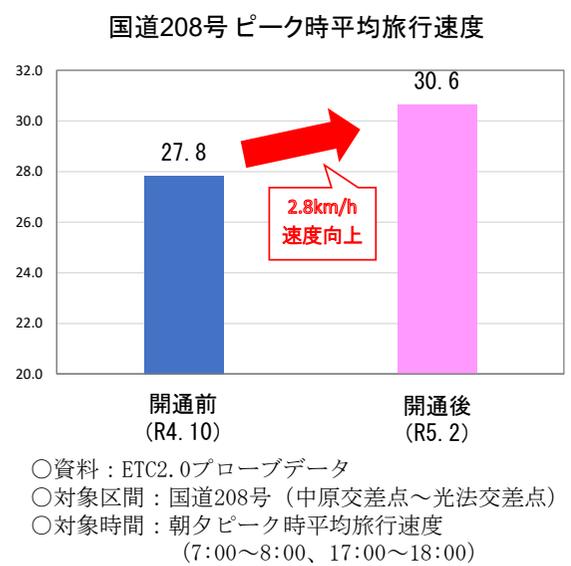
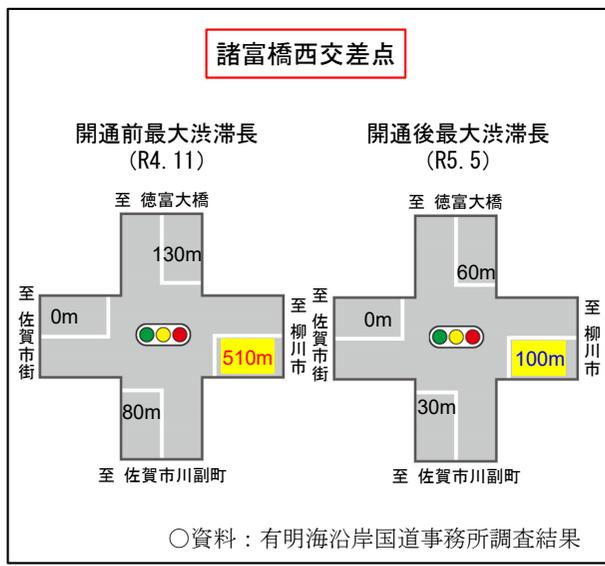
交通混雑の緩和(交通量の変化・渋滞の解消)

- 令和4年11月に開通した大野島IC～諸富IC間で約1.1万台/日を観測。
- 並行する国道208号、主要地方道大牟田川副線の交通量がそれぞれ減少し、交通混雑の緩和に寄与している。
- 3路線の断面交通量が増加しており、その外側にある地方道からも交通が転換し、交通混雑の緩和に寄与している。



交通混雑の緩和(交通量の変化・渋滞の解消)

- 有明海沿岸道路に交通が転換することにより、並行する一般国道208号及び県道大牟田川副線の主要渋滞箇所において、渋滞長が減少し、交通サービスの向上がみられる。
- 並行する一般国道208号は、交通量の減少により朝夕ピーク時で旅行速度が2.8km/h向上。



写真①早津江橋西交差点 大野島IC～諸富IC開通前

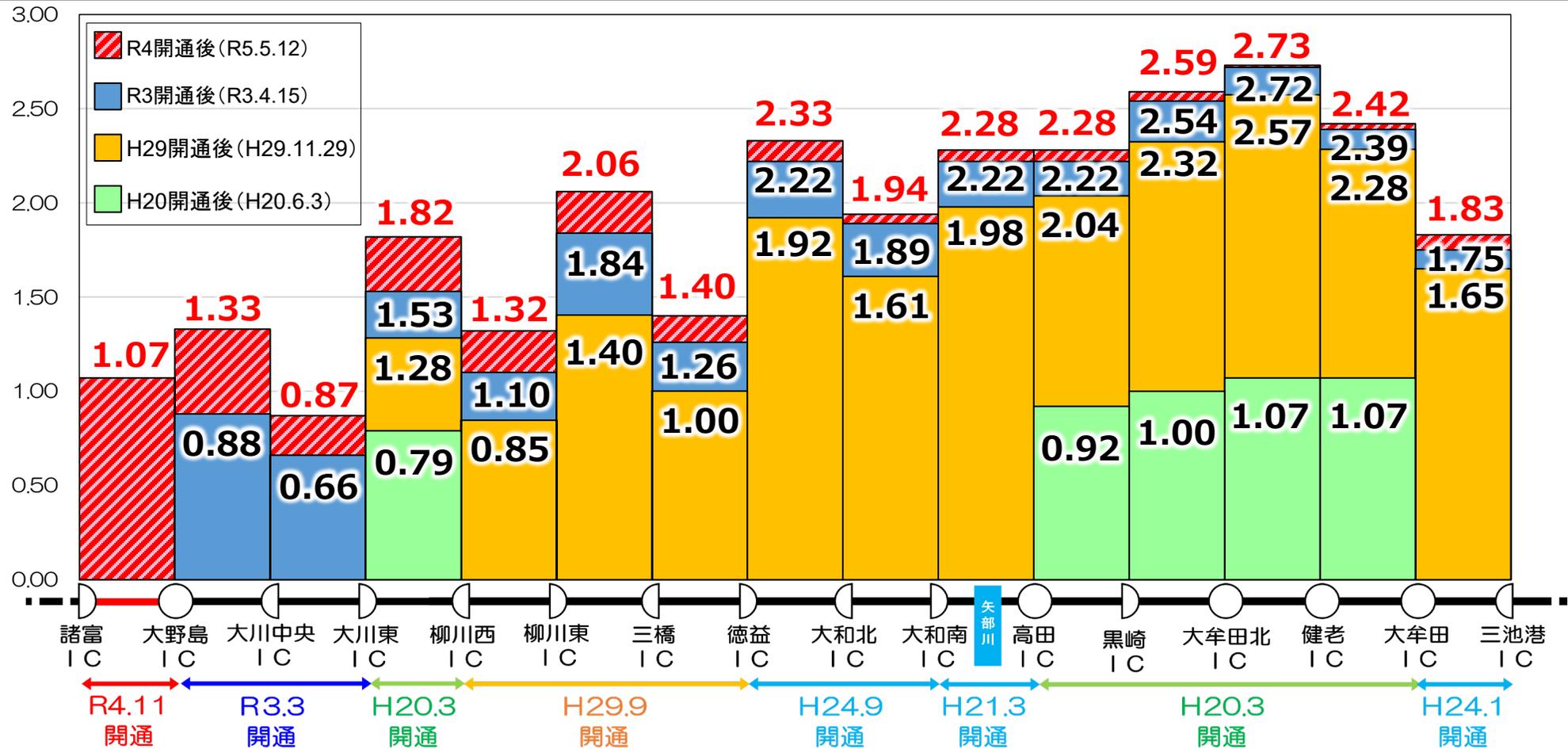


写真①早津江橋西交差点 大野島IC～諸富IC開通後

広域交通ネットワークの形成

○福岡県区間の初めての開通後は交通量が約1万台/日程度であったが、開通区間が延びることにより交通量が増加し、全区間において利用交通量の増加が確認され、最大2万7千台を超えている。

○令和4年開通後の利用交通量は、三橋IC～諸富IC間において増加幅が大きく、大川中央IC～大野島IC間では、R3交通量の約1.5倍の交通量となっている。



▲有明海沿岸道路の断面交通量の変化
 (初開通直後 (H20. 6) から現況 (R4. 11 諸富IC開通後) までの変化)